

6月定例会

6月定例会報告	2
議案審議採決結果	4
新議長・副議長就任のご挨拶	5
よりよい町づくりのために!一般質問 ..	6
委員会活動	11



Vol. **76**

議会だより



3月22日執行の町議会議員選挙で12人の新たな議員が誕生し、議会の新体制がスタートしました。

2026.8.1 発行

一般会計の主な事業の紹介

事業名	事業概要	予算額
防犯カメラ設置工事	主要交差点など町内の7箇所に防犯カメラを設置します。	264万円
防犯カメラ設置支援	地域公民館に防犯カメラを設置する行政区に対して費用の3/4以内（上限10万円）を補助します。設置後の管理・運営は行政区	100万円
自主防災組織機能強化	訓練や講習会等の経費の2/3以内（上限3万円）を補助します。	45万円
	防災資材の購入経費の1/2以内（上限10万円） ＊地区防災計画策定が条件	150万円
スポーツ公園整備	総合グラウンド(第2グラウンド)をスポーツ公園として、芝広場、トイレ、ベンチ、倉庫、東屋などを整備します。財源として、スポーツ振興くじ助成金、過疎債、緑化基金を充てます。	2億6,295万円
後期高齢者人間ドック	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドックの受診料を補助します。上限25,000円	76万円
公園遊具など増設	ロマンパーク 「アスレチック系の遊具設置」 いだてんパーク 「日除けとブランコを設置」	3,360万円

子育て・移住定住支援事業が拡充されます

制度名	事業概要	現行	改正後
新婚さん定住促進奨励金	50歳未満の新婚夫婦へ	15万円／組	20万円／組
入学祝金	入学のステージごとに支給	小学校 5万円 中学校 10万円 高校 15万円	小学校 10万円 中学校 15万円 高校 20万円
住宅みらい支援補助	定住のための新築又は建売を取得する人	一般世帯 25万円 若者世帯 50万円 町外世帯 75万円	一般世帯 50万円 若者世帯 100万円 町外世帯 150万円
	定住のために中古住宅を取得、又は改修する人	制度無し	一般世帯 10万円 若者世帯 20万円 町外世帯 30万円

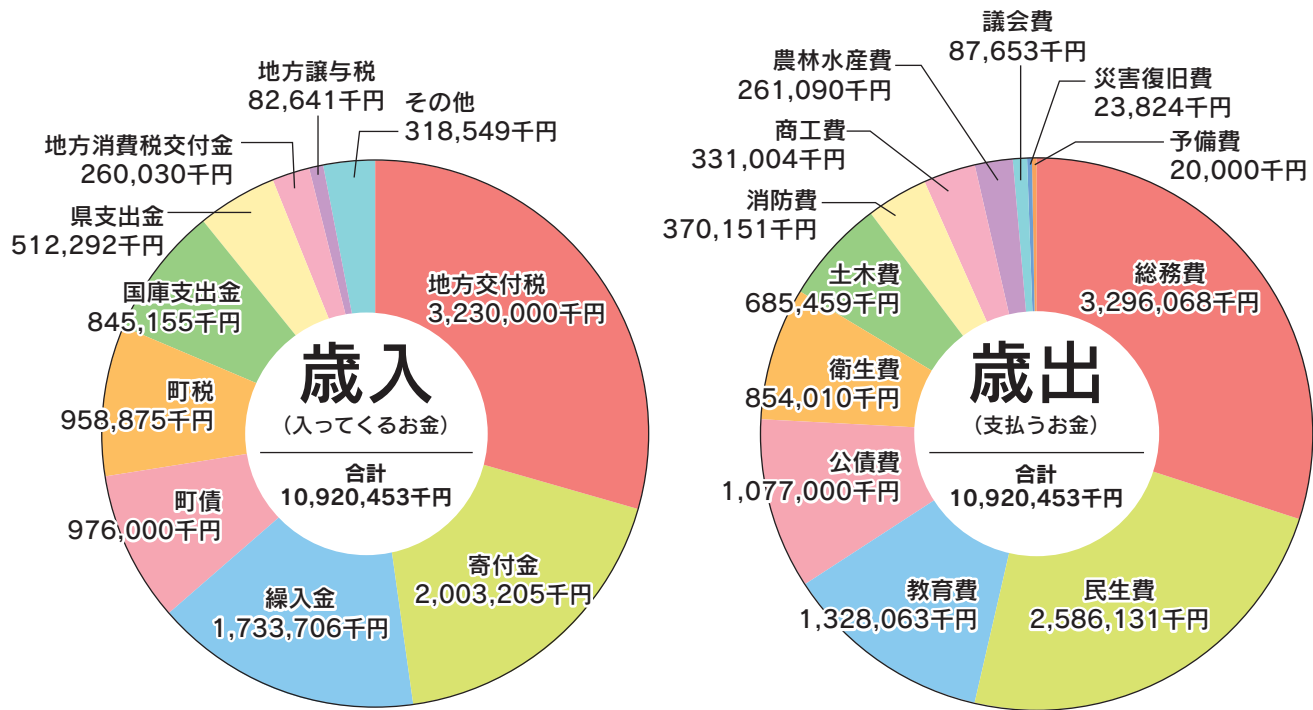
令和8年度 補正予算が成立

令和8年度の一般会計予算

総額 109億2,045万3千円

(うち6月補正で11億6,654万5千円を追加)

令和8年6月定例議会は、6月8日から12日までの5日間の会期で、補正予算など12議案(条例3件、補正予算6件、その他2件、人事1件)が上程され、すべて可決されました。



各会計の予算額

会計名	6月補正額	予算計
一般会計	11億6,654万5千円	109億2,045万3千円
国民健康保険事業会計	660万5千円	13億2,225万円
介護保険事業会計	241万8千円	15億1,469万8千円
特別養護老人ホーム事業会計	0円	23億523万4千円
後期高齢者医療事業会計	0円	2億2,293万9千円
簡易水道事業会計	255万3千円	1億6,545万3千円
下水道事業会計	679万1千円	3億9,699万8千円
病院事業会計	1,283万7千円	12億4,312万6千円
春富財産区特別会計	0円	67万4千円

新議長・副議長就任のご挨拶

盛夏の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、3月の町議会議員選挙において12人の議員が誕生しました。又、4月の臨時議会において、議員各位のご推挙を賜り、和水町議会第7代目議長の大職に就かせていただきました。身に余る光栄であるとともに、職責の重さに身の引き締まる思いをしています。議長の職責を全うすべく、本町議会の円滑な運営と、更なる発展のために誠心誠意取り組みたい所存でございます。

さて、現在の中東情勢はじめての緊迫した国際社会の動向は、エネルギー価格の不安定化や原材料費の高騰等、地域経済に深刻な影を落としています。このような状況の中、2期目の石原町政がスタートしました。議会は、議員各位が持つ多様な視点と、町民の皆様から託された尊い声をまとめ、活発な議論を重ね、よりよい方向を決定する議決機関として重要な役割を担っています。私は議長として、町民の皆様が住みやすい町づくりを目指し、議会秩序の維持や円滑な議会運営に努め、議員各位と和水町発展に寄与できる様な議会づくり、精一杯努力してまいります。町民の皆様におかれましては、議会に対するご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げますと共に、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

この度は、議員各位のご推挙を賜り副議長の大職を担わせて頂く事になりました。心より感謝申し上げます。使命の重さに改めて強い決意をしたところであります。副議長として議長を支え、議会の公正で円滑な運営に努めるとともに議員相互の信頼と融和を大切にして町民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、役割と責任を果たして参ります。少子高齢化、人口減少等の課題は山積みであります。若い世代が安心して働き、生活のできる環境構築に努力します。

また、交通基盤の充実も多くの住民の願いであります。住みやすく活力のあるまちづくりを目指します。



議長 坂本 敏彦



副議長 竹下 周二

6月定例会議案審議

採決結果

議案番号	区分	議案名	審議採決の結果
議案第38号	条例	和水町政治倫理条例の制定について	原案可決
議案第39号	条例	和水町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第40号	条例	和水町介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	補正予算	令和8年度 和水町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第42号	補正予算	令和8年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第43号	補正予算	令和8年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第44号	補正予算	令和8年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第45号	補正予算	令和8年度 和水町下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第46号	補正予算	令和8年度 和水町病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第47号	その他	第3次和水町まちづくり総合計画基本構想の策定について	原案可決
議案第48号	その他	工事請負契約の締結について	原案可決
同意第3号	人事	教育委員会委員の任命について	原案同意

条 例 :	3件
補 正 予 算 :	6件
そ の 他 :	2件
人 事 :	1件
計	12件

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
434	令和8年2月24日	mRNAワクチン（レプリコワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	配付	
440	令和8年2月25日	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	配付	
5	令和8年4月6日	要望書(ガードレール設置要望)	採択	総務経済 常任委員会
52	令和8年5月11日	「被害者救済と水俣病の早期解決を国へ要望する意見書の採択を求める陳情書」の審議及び採択のお願い	配付	



木原 泰代議員



国民健康保険の健全な運営について

木原 本町の国民健康保険税の現状は。

町長 本町の国民健康保険被保険者は2,087名

で、年々減少傾向。一人当たりの保険税は県平均に近い。令和12年度の保険料県内統一に向けて、令和9年度から県が示す標準保険料による統一算定を行う予定。

木原 県統一後の本町保険税の見通しは。

税務課長 本町の保険税は県平均に近いことから、大幅な変化はないと考えている。但し、引き続き県全体で医療費の適正化に取り組む必要がある。

木原 本町の国保医療費の現状と課題は何か。

住民環境課長 高齢、生活習慣病に起因する医療費が多い。高度医療での医療費増もある。必要な医療が受けられるためにも、予防可能な生活習慣病を重症化させないことが大切である。

木原 具体的な重症化予防の取り組みは。

住民環境課長 特定健診の受診率・保健指導率の向上、受診勧奨、ジェネリック薬品の利用促進等である。特に、人工透析予防、糖尿病を早期に治療につなぐよう取り組んでいる。若い世代からの取り組みが重要である。

木原 町民が健康で活力ある町を更に築いていく覚悟は。

町長 データに基づく効果的な保健事業の推進、健康づくり体制の強化、意識啓発等にも力を入れ、健康で活力ある和水町の実現に向けて全力で取り組んでいく。

木原 子どもの居場所づくりについて、現状と今後の方向性は。

町長 本町では、「放課後児童クラブ」の4拠点実施、「子育てひろば」の開設、「公園」整備等に取り組んできた。今後、母子保健の拠点、第3の居場所、屋内の居場所の整備等についての調査研究を更に加速させていく。



竹下 周三議員



県道改良の早期着工を 農業環境の充実と農産品魅力発信を

竹下 県道玉名八女線の旧春富小学校の先、区間改良工事の進捗状況は。

建設課長 R6年度事業費200万円で概略設計、R7年度事業費410万円で地形測量業務、R8年度は路線測量業務を発注予定。

竹下 矢部谷トンネル促進期成会の活動状況は。

建設課長 玉名地域振興局土木部、熊本県知事、各県選出国會議員と古賀元自民党幹事長へ要望活動を実施した。

竹下 熊本県、福岡県、この路線に関連して県レベルでの勉強会は立上げられているのか。

建設課長 正式には行われていない。

竹下 熊本県と福岡県で県同士での勉強会を早期に立ちあげる計画はないのか。

建設課長 熊本県、福岡県への要望はもちろんのこと、県議會議員を通して進めていただくよう陳情する。

竹下 県道玉名立花線の猿懸峠の進捗状況は。

町長 850名の署名は、早期実現を願う切実な声であり、重く受け止めている。早期事業化に向けて要

望活動を重点的に行う。

竹下 農作業中の事故対策について。

農林振興課長 本町では、近年4件の死亡事故が発生している。

竹下 事故の現場検証はされたか。

農林振興課長 現場検証はしていない。

竹下 安全対策指導は、現場の検証が最優先ではないか。

農林振興課長 本町の果樹団地は急傾斜地が多く、農業機械での転落等の危険があり、農作業環境の確保に努める。

竹下 和水町ブランド開発の状況は。

まちづくり課長 (株)食文化にブランディングと包括連携協定を結び、赤坂四川飯店監修による商品開発等を進めている。今後も加工品開発に努める。これまで頂いたご縁を生かして宣伝に努める。



白木 淳議員



中央校区以外の各校区が取り残されては いけない!!

白木 直近2年間の「社会増」についてどのような分析を行っているか。

町長 子育て支援、教育環境の充実、地域経済の維持、防災体制の強化などに取り組んできた。消滅可能性自治体の位置づけの中で、社会減対策が極めて必要であるとされており、これまでの取組により、直近2年間社会増となったことを踏まえると、取組内容とその結果について一定の成果が出ているものと考えている。

白木 現在の人口増は中央校区に偏っており、中央校区以外の各校区の減少という現状をどのようにとらえ、今後どのように施策に反映していく考えがあるか。

町長 中央校区においては、人口増加や住宅支援、住宅取得支援制度の利用が多い要因として、交通の利便性、上下水道が整備されているといった生活環境、また、民間宅地の開発が進んでいる住宅供



給の状況など、様々な要素が影響しているものと考えている。地域ごとの人口動向に差が生じていることについては、重要な課題であると認識している。

人口減少対策を進める上で、それぞれの地域が持つ特性や課題を踏まえた取り組みが必要であると考えている。また、住宅施策についても、中央校区だけでなく、その他の地域においても、定住につながる住宅環境の整備や空き家の活用、民間宅地開発の促進など、それぞれの地域の実情に応じた施策を検討していく必要があると考えている。特に、三加和小中学校の児童生徒数が減少してきていることが課題の一つであり、三加和地区に住宅施策等を重点強化していく必要があると考えている。



秋丸 要一議員



職員が力を充分に発揮するためには心身の 安定が重要!職場環境の改善を!

秋丸 本町における職員がメンタルヘルス不調の対象になった事例はあるか。

町長 令和4年度は3人1.7%。令和5年度2人1.1%。令和6年度4人2.4%で総務省が公表している割合より高い傾向になっている。

秋丸 現状をどのように認識しているか。

町長 数が多いと認識している。

秋丸 職員の健康管理体制の現状についてはどうか。

町長 定期健康診断の実施をはじめ、ストレスチェック制度の実施、面談指導、相談体制など関係法令に基づき対応している。また現在、病気休暇で1名、退職者はゼロ。

秋丸 メンタル不調になった原因は何か。

町長 主な要因は、業務量の増加や職場内の人間関係やコミュニケーションなど様々な要因が複合的に関係するものと思う。

秋丸 メンタル不調の対応についてはどのようにしているか。

町長 仕事面においては業務分担の見直しや勤務上の配慮、医療機関への受診を促すなどの対応を講じている。

秋丸 今日、不調を抱かれたまま働き続けている職員はいるか。

総務課長 ストレスチェックを実施した結果、高ストレス24名、産業医の面談を受けた19名、その内でストレスが業務との関係性を疑われるものが8名いると結果が出た。

秋丸 早期発見、早期対応が重要と思うが。各課では予防の取り組みをどのようにしているか。

総務課長 課長がトップとなって、職場業務ができるようアンテナは常に張っている。体調などは常に声かけをしながら対応している。

秋丸 今後取り組む課題や問題点はあるか。

総務課長 長時間労働の改善を行ないたい。

秋丸 メンタル不調の対応については、特に幹部職員のマネジメント力が必須条件となるが今後の対応は。

総務課長 管理職は研修をしっかりと受けている。さらに徹底した研修への参加を促進したい。

秋丸 町長は最高監督者として働きやすい職場環境をどのように実現するのか。

町長 管理職に対するマネジメント研修を強化し、職場環境の改善に努める。



坂本 正貴議員



高齢者が安心して暮らせる町づくり 認知症介護者の支援の充実

坂本 現在、和水町が進めている地域包括ケアシステムの取り組みは。

町長 本町では「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」の5つの要素が連携し、地域で安心して暮らし続けられる地域包括ケアシステムの充実を図っている。

坂本 現在、どのような認知症の介護予防活動が行われているか。

町長 「お茶の間筋トレ」「^{じきょうじゆつ}自彊術」「ふれあい会」「なかよし会」等がある。

坂本 認知症カフェの活動状況は。

町長 本町においても介護者の集いを年4回開催した。また地域での取り組みでは、十町地区のひふみ亭で昨年度は6回開催し、88名の参加があった。

坂本 認知症介護者の負担軽減の為の研修会の開催状況は。

町長 認知症カフェの中で認知症についての講話、介護技術講座、福祉講座などを開催している。

坂本 社会全体で介護者を支援する取り組みについて伺う。

町長 相談窓口として地域包括支援センターを設置し、ご家族への支援を行っている。

また、認知症サポーター養成講座を町内の小学6年生及び中学3年生を対象に毎年開催しているほか、要望に対して出前講座を実施している。今後も認知症に対する正しい理解を地域全体で共有し、認知症になられても安心して暮らし続けられる地域づくりに努めていく。



蒲池 恭一議員



兼業農家にも補助金をだすべきでは！

蒲池 物価高騰により、農業を取り巻く環境はさらに厳しさを増しているが、町長の認識を伺う。

町長 農業従事者の高齢化・後継者不足・農業資材や燃料費の高騰、さらには気候変動による生産環境の変化など、農業を取り巻く環境は大変厳しさを増している。このような中、農業機械の導入に対する支援、農地の集積・集約化の推進、認定農業者や新規就農者への支援、有害鳥獣対策等、国・県の補助事業を活用し、農業者が安心して営農を継続できる環境づくりに努めてきた。

蒲池 和水町農業機械等補助金事業の補助率・補助金限度額を、大幅に増額する必要があると考えるが伺う。

町長 近年、農業機械価格が大幅に上昇しており、今の補助制度では、負担軽減効果が十分でない

の声を伺っており、他自治体の支援状況、町の財政状況等、総合的に勘案し、令和9年度の予算編成を見据えて検討する。

蒲池 和水町農業機械等補助金事業の令和6年度、令和7年度の実績は。

農林振興課長 令和6年度8件550万、令和7年度9件744万4000円。

蒲池 和水町農業機械等補助金事業の助成対象を兼業農家も含めるべきと考えるが見解を伺う。

町長 農業者の減少、耕作放棄地の増加が懸念される中であって、兼業であっても農業を継続されている方々の存在は、地域の農業生産基盤の維持、集落機能の維持に大きく貢献していただいております。兼業農業者を含めた支援の在り方について、令和9年度予算編成を見据えて検討を進める。

その他の質問

○高齢者支援について



北川 雅和議員



町民が集い、学び、憩える図書室の整備を要望

北川 図書室を子どもの居場所づくりや地域交流の拠点として活用する考えは。

町長 図書室は本を読む場所だけでなく、子どもたちが安心して過ごせる居場所や地域住民の交流の場として重要な役割を担う。今後も既存施設を有効活用しながら、本町の実情に応じた活用方法を検討していく。

北川 本町は独立した図書館が無く、近隣市町村に比べ学習環境の格差を感じる。公民館の図書室は1階と2階にスペースが分かれ、安全管理上の死角があるが、どのように改善するのか。

社会教育課長 職員による館内巡回を実施している。

そのうえで死角の確認や巡回強化に努めるとともに、来館者の安全確保



図書室



自習室

や防犯対策のため、防犯カメラ導入など環境改善を進めていく必要がある。

北川 町民ニーズを把握するため、広報紙『なごみ』を活用したアンケート調査を実施する考えは。

社会教育課長 町民のニーズの把握は非常に重要であると認識している。まずはご意見箱やQRコードを活用した意見収集を行い、必要に応じてアンケート調査も検討する。

北川 令和7年度のふるさと納税が過去最高の約22億円に達した今こそ、将来の町民の暮らしや子どもたちの未来へ先行投資すべきだ。町民が集い、学び、くつろげる拠点としての「図書室機能の充実」を強く要望する。町長の大胆かつ前向きな決断を期待したいが町長の考えは。

町長 今回、図書室の更なる充実の声というのを届けていただいたので、教育委員会と、今後に向けて検討を進めたいと思う。

その他の質問 ○防犯灯・防犯カメラ整備による安全安心なまちづくりについて



池田 精一郎議員



農業振興における成果と課題、今後の取組について

池田 町長公約である「安定的に稼げる農業」の実現に向け、資材や機械価格の高騰が続く中、今

後どのような分野に重点を置いて支援を進めるか。

農林振興課長 国の交付金活用やスマート農業、有害鳥獣対策を推進する。農業機械の補助率や上限額の見直しは、利用状況や他自治体の支援、町の財政状況等を総合的に勘案し検討していく。

池田 50歳以上を対象とした「セカンドライフ応援事業助成金」のこれまでの実績と、今後の見直し方針は。

農林振興課長 令和6年度の開始以来、6件の相談があったが交付には至っていない。就農へのハードルの高さを分析し、より就農者が確



保できるよう要綱の見直しを検討する。

池田 農林畜産物の6次産業化や付加価値向上に向け、包括連携協定を締結している(株)食文化とのブランディング事業の取組実績と今後の支援は。

まちづくり課長 令和6年度から販売戦略や先進事例を学ぶ勉強会を計6回開催した。今後は同社のノウハウをいただきながら、国・県の補助金も活用し、商品開発や新たな販路開拓を支援していく。

和水町セカンドライフ応援事業	
町では、50歳以上の方が第二の人生として農業を選択いただき、心身ともに健康な生活を送ってもらうこと、就農により農地の遊休化防止や労働力不足の解消など地域農業に貢献していただくことを目的に、次のような支援を行っております。	
① 就農者助成事業	農業を新たに開始する経営者に対して、助成金を交付します。 (1) 交付対象者のうち10アール未満の農地面積を耕作する者 5万円 (2) 交付対象者のうち10アール以上の農地面積を耕作する者 15万円
② 農業機械等導入支援事業	農業経営を新たに開始する経営者に対して、農業機械等の導入を支援します。(※①の事業と同時に申請する必要があります。) 【支援額】 補助対象経費の2分の1【上限額10万円】(1回限り)
交付対象者の要件	
(1) 町内に住所を有する50歳以上70歳未満の者 (2) 町内の農地を耕作する者 (3) 農業経営を新たに開始して3年以内の者 (4) 農産物の販売を目的として耕作する者(既に販売している者) (5) 和水町の町税等に滞納がない者 (6) 国及び町の制度において、新規就農に対する支援事業を受けていない者	

委員会活動

総務経済常任委員会



右から
北川雅和 委員
池田精一郎 委員
蒲池恭一 副委員長
秋丸要一 委員長
坂本敏彦 委員
白木 淳 委員

〔所管〕
総務課
まちづくり課
デジタル行政推進課
建設課
農林振興課
農業委員会
地域振興課
会計室

厚生文教常任委員会



右から
坂本正貴 委員
亀崎清貴 委員
木原泰代 副委員長
齊木幸男 委員長
高木洋一郎 委員
竹下周三 委員

〔所管〕
福祉課
保健子ども課
税務課
住民環境課
教育委員会
町立病院
きくすい荘

広報公聴常任委員会



右から
北川雅和 委員
池田精一郎 委員
坂本正貴 副委員長
亀崎清貴 委員長
木原泰代 委員
高木洋一郎 委員

〔議会広報の編集、発行などに関する事項〕

議会運営委員会



右から
木原泰代 委員
齊木幸男 委員
蒲池恭一 委員長
高木洋一郎 副委員長
秋丸要一 委員長
亀崎清貴 委員
池田精一郎 委員

〔議会運営の全般に関する事項〕

有明広域行政事務組合議会議員

北川雅和 議員 池田精一郎 議員

監査委員

白木 淳 議員



給食費無償化の先の教育投資・免許返納者の移動支援
旧菊水南小跡地の活用・農村広場の避難所整備



齊木 幸男議員

国の給食費無償化に伴う自主財源の活用。パスポート取得費補助、学用品・副教材費・運動着等購入補助など、給食費完全無償化の一步先を行い保護者の負担軽減を考える機会では。

学校教育課長 今のところ考えは無い。

齊木 給食を通じた農業振興。町の食材の利用率を上げる。有機農産物やスイカ・シャインマスカットなど今まで給食に出せなかったものを出し農業経営者の所得向上につなげては。

学校教育課長 今以上に豪華な食材提供は考えていない。

齊木 免許返納者が町外医療機関等への移動に困窮しないよう、一般タクシー利用券配布など直接的支援の考えは。

町長 町外への移動支援の在り方を検討する。

齊木 企業が撤退した旧菊水南小学校跡地はピンチではなくチャンスだ。新たな利活用ビジョンは。

町長 県と連携し積極的な企業誘致を進める。

齊木 旧菊水南小学校プール跡地の利活用は。

町長 民間活力の導入など幅広く検討する。

齊木 指定緊急避難場所となった農村広場のトイレ等の整備の進め方は。

町長 一時的避難場所のため整備は考えていない。

齊木 避難所として南団地集会所の活用は。

町長 要配慮者の一時受入施設として早期運用へ準備を進める。



旧菊水南小学校。令和7年12月25日で町へ所有者移転完了。



三加和温泉周辺の活性化を！
緑彩館の運営を適正に！
地元企業との連携強化を！



亀崎 清貴議員

4月から三加和温泉の指定管理者が変更され、緑彩館の商品数減少や食品表示等、利用者や地域住民から不安や改善を求める声が聞かれる。町は指定管理者にどのような指導・協議を行っているのか。

町長 緑彩館の商品の品揃え・食品表示等、町民や利用者から様々な意見や指摘があることは認識している。町として、利用者や出荷者等の声に耳を傾け、ニーズや不安を把握し、適切に指導・協議を行っている。

亀崎 私は三加和温泉が本町観光の核として地域経済を牽引し、農業商業観光をつなぐ拠点となることを確信している。策定された構想を構想で終わらせることなく、具体的な事業として着実に実現していく上で、三加和温泉の未来に対する町長の決意と覚悟を聞かせたい。

町長 基本構想の中で示す

①若い世代が立寄り滞在したくなる居心地のよい空間づくり

②豊かな自然や温泉資源等を活用し、周辺地域にはない魅力的な体験の提供

③年間を通じて利用され、再び訪れたい機能の導入

三加和温泉周辺は和水町、特に三加和地域の観光拠点になる施設である。

これからも、地元の事業者や利用者、指定管理者と行政が一体となり、三加和温泉の活性化に向けて取り組みを進めていく。

亀崎 雇用や税収の面から地場企業や保育園、介護施設等企業全般の求人案内や事業紹介等を町の専用サイトや広報紙等で周知できないか。

まちづくり課長 町企業等懇話会の企業限定にはなるが、情報発信の取り組みを検討中であり、会員企業との調整が整い次第、スタートしたい。

その他の質問 ○緑彩館の指定管理者とのプロポーザルについて
○定住化対策について



三加和温泉



緑彩館



議会のうごき

ACTION

3月定例会以降の主な行事について報告します。

3月

- 7(土) ◆令和7年度菊水中学校卒業式
◆令和7年度三加和中学校卒業式
- 12(木) ◆令和7年度第4回和水町社会福祉協議会理事会
- 24(月) ◆令和7年度菊水小学校卒業証書授与式
◆令和7年度三加和小学校卒業証書授与式
- 25(火) ◆第52回和水町古墳祭第2回実行委員会
◆「2025山太郎祭」第2回実行委員会
- 27(金) ◆クリーンパークファイブ落成式

4月

- 4(土) ◆和水町消防団辞令交付式
◆令和8年度菊水ひまわり園入園式
- 5(日) ◆令和8年度和水町青年団総会
- 9(木) ◆令和8年度菊水小学校入学式
◆令和8年度三加和小学校入学式
◆令和8年度菊水中学校入学式
◆令和8年度三加和中学校入学式
- 13(月) ◆第19回和水町商工会青年部通常総会
- 23(木) ◆令和8年第2回和水町議会臨時会
◆和水町議会運営委員会
◆和水町全員協議会
- 24(金) ◆令和8年度和水町老人クラブ連合会総会
- 25(土) ◆第9回和水町消防操法大会
- 26(日) ◆令和8年度さくすい荘家族会通常総会
- 27(月) ◆玉名郡議長会4月(第1回)定例会

5月

- 8(金) ◆議会議員研修
- 10(日) ◆令和8年度和水町地域婦人会総会
- 15(金) ◆令和8年度和水町認定農業者協議会総会
◆熊本県議長会議長研修会
- 16(土) ◆令和8年度菊池川水防演習
- 19(火) ◆台湾屏東県議会来訪に伴う表敬訪問対応
◆総務経済常任委員会
◆厚生文教常任委員会
- 20(水) ◆金栗マラソン実行委員会
- 21(木) ◆和水町議会運営委員会
- 22(金) ◆令和8年度第19回和水町商工会通常総会
- 25～27(月)、(火)、(水)
◆議長・副議長研修会、県関係国会議員への要望
- 29(金) ◆消防庁官表彰授与に伴う祝賀会
- 30(土) ◆令和8年度和水町ボランティア連絡協議会総会
- 31(日) ◆田んぼでどろんこフェスティバル2026

6月

- 1(月) ◆令和8年度第1回農業振興促進協議会
- 2(火) ◆和水町防災会議
◆第53回和水町古墳祭第1回実行委員会
- 3(水) ◆令和8年度玉名地区防犯協会連合会総会
- 4(木) ◆第49回荒尾・玉名地区人権・同和教育研究会
- 6(土) ◆和水町自衛隊家族会総会
- 8(月) ◆令和8年第2回和水町議会定例会

委員長	亀崎 清貴
副委員長	坂本 正貴
委員	木原 泰代
委員	高木 洋一郎
委員	北川 雅和
委員	池田 精一郎

広報公聴常任委員

亀崎 清貴

和水町議会議員研修会

令和8年5月8日(金)熊本県町村議会議長会の古家事務局長を講師にお招きし、「一般質問の仕方」、「議員報酬」について研修会を実施しました。



一般質問の仕方については、質問する議員、受ける執行機関

が十分な準備が必要であるため、通告書要旨の内容を見ればおおよその準備ができる内容が望ましい。また、質問する際、議会の品位を落とす発言など注意する発言事例をあげて説明が行われました。

また、議員報酬については、議員のなり手不足への対応策のひとつとして議員報酬の見直しが進んでいる。県内自治体の議員報酬額や議会議員の活動等についての説明が行われた。今後の議会活動に活かしていきたいと感じた研修会でした。

人／事／案／件

令和8年第2回臨時会において、和水町監査委員の選任について上程され、次のとおり決定されました。

○和水町監査委員 白木 淳(中岩)

令和8年第2回定例会(6月)において、和水町教育委員会委員の任命について上程され、次のとおり同意されました。

○和水町教育委員会委員 牧嶋 隆光(原口)

編集後記

本号は、改選後初めて発行する議会だよりとなります。

また、本年4月からは、これまでの「広報調査特別委員会」を発展的に改組し、新たに「広報公聴常任委員会」が設置されました。これは、議会の活動や審議内容を分かりやすくお伝えする「広報」の役割に加え、町民の皆様の声を積極的にお聴きし、議会活動へ反映させる「公聴」の機能を強化するための大きな一歩です。

広報公聴常任委員長

亀崎 清貴

今後とも議会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、本年4月からは、これまでの「広報調査特別委員会」を発展的に改組し、新たに「広報公聴常任委員会」が設置されました。これは、議会の活動や審議内容を分かりやすくお伝えする「広報」の役割に加え、町民の皆様の声を積極的にお聴きし、議会活動へ反映させる「公聴」の機能を強化するための大きな一歩です。